

- 1 日 時 令和6年5月13日(月) 午後1時30分開会
- 2 場 所 日光市役所本庁舎3階大会議室
- 3 出席者 教育長 関 孝 和
出席委員 委 員 手 塚 美智雄
委 員 池 田 由美子
委 員 速 水 茂 希
委 員 岸 野 紗生里
委 員 安 江 麻衣子
- 4 説明員 教育次長 松 本 孝
学校教育課長 伊 藤 真由美
生涯学習課長 斎 藤 良 介
文化財課長 登 坂 和 博
スポーツ振興課長 福 田 英 男
中央公民館長 河 合 誠 一
学校教育課課長補佐兼教育総務係長 斎 藤 朋 子
学校教育課課長補佐兼教育指導係長 飯 島 健 徳
- 5 書 記 学校教育課主査 八木澤 恵 美
- 6 議 題
- (1) 報告事項
- ①事務局からの報告
- ア 令和6年度教育委員会主要事務事業について
- イ 日光市立小中学校適正配置(小来川小中学校及び日光中学校・東中学校)について
- ウ ちょこっとスタバケ日光について
- (2) 教育委員からの提案事項
- (3) その他
- ①次会開催予定
- 日時: 令和6年6月17日(月)午後3時00分
- 場所: 日光市役所本庁舎3階大会議室

日時：令和6年7月23日(火)午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

7 会議の概要

午後1時30分、開会を宣言した。

会議録の署名人に、手塚・池田両委員を指名した。

日程第一 前会会議録の承認

前会会議録を確認し、承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

日程第二 報告事項

(1) 事務局からの報告

【教育次長】

【報告要旨】

・令和6年度教育委員会主要事務事業について、教育次長から資料の概要を説明し、続いて各担当課長から事業の詳細を報告した。

【学校教育課長】

【報告要旨】

・小来川小中学校及び日光中学校と東中学校の適正配置について、現在までの進捗状況等を報告した

【学校教育課課長補佐】

【報告要旨】

・ちよこっとスタバケ日光について、改めて制度の説明をするとともに、現在までの運用状況を報告した。

【教育長】

報告終了後、質疑を求めた。

【委員】

学校教育課主要事務事業の多目的トイレやスロープの整備について、学校の避難所としての役割から考えると、スロープだけでは高齢者等には対応が不十分であり、スロープと併せて手すりの設置も必要なのではないか。

【学校教育課長】

この場では設計書が確認できないため明確なことは分かりかねるが、手すりが必要な施設については、スロープと併せて手すりの設置も念頭に整備を進めていく必要があると考えている。

【委員】

3点質問したい。1点目は早期英語教育について、3歳児への絵本の配布や、保育

園及び幼稚園に指導員を派遣する事業を実施されているとのことだが、通園していない幼児は絵本のみの対応となるのか。また、指導員の指導内容は園によって差があるのか。

2点目は教育委員会の学校への支援事業について、市は教員が児童生徒と向き合う時間の確保ができるよう様々な取り組みを実施されているかと思うが、そのような中、先日の新聞で教員の多忙感が解消されていないという報道があった。日光市においては教員の勤務実態はどのような状況なのか教えていただきたい。

最後にちょっとスタバケ日光について、こちらの制度は観光業を営む保護者や休日に休めない保護者の支援が趣旨かと思うが、例えば観光業ではない保護者が、平日が混んでいるから休日にスタバケを取得するという事は可能なのか。

【学校教育課課長補佐】

早期英語教育は通園していない幼児は絵本のみの対応となっている。

また、派遣事業は教育委員会が雇用している学校指導助手が対応している。学習指導要領が無い場合指導助手が内容を相談し合い、保育園や幼稚園と調整しながら実施している。指導内容の調整や、園側から派遣は必要ないとの申し出があった場合には派遣を実施していないため、園によって指導に差が出ているのが現状である。

教員の多忙感については、毎月時間外勤務の調査を行うことにより把握している。

4月の調査結果は現在集計中だが、徐々に軽減傾向はあるものの、依然時間外勤務が多い学校があることも課題として捉えている。少しでも改善が図れるよう、今後も指導してまいりたい。

最後にスタバケについては、観光業等に限らずどの家庭も取得できる制度となっている。

【委員】

学校教育課の主要事務事業であるG I G Aスクールについて、多くの児童生徒が一斉に利用するとインターネットに繋がらなくなるといった通信速度の問題が報道に取り上げられていたが、日光市ではどのような状況なのか。また、報道では児童生徒の検索履歴の集計も問題に取り上げられていたが、日光市では検索履歴は確認できるのか、集計は取っているのか、併せて伺いたい。

続いてスタバケについて、現時点で利用されている保護者も多くいるようだが、栃木県が6月から実施予定の平日にもう一泊とちぎ旅というキャンペーン等、国や県の企画に同調できるようアピールしてもよいのではないかと。また、市のモデルコースや施設を提案する等、保護者層にアピールすることにより人口減少対策や、来訪者の増加にも繋がるのではないかと。

【学校教育課課長補佐】

まずG I G Aスクールについて、中学校は小学校より先にWi-Fi整備を行ったため、度々インターネットに接続しにくい等の相談を受けることがある。そういった事態を解消できるよう、今年度中に対策を検討しようとしているところである。

御質問をいただいた、多くの台数がインターネットにアクセスしたことにより通信が止まってしまうといったトラブルは日光市では起きていない状況であり、日光市では、インターネットに接続しにくくなってしまっている程度である。

また、児童生徒の検索履歴を見ることは可能であると思うが、検索履歴の確認は行

っていない。

【学校教育課長】

ちょこっとスタバケ日光については、全国から問い合わせをいただく程反響がある制度である。学校教育課や担当部署の商工課においても、今後他自治体へのPRや、県への働きかけをしてまいりたいと考えているところである。

また、これらの制度は広く制限なく利用していただきたいという趣旨があるため、現在はモデルコース等の具体例を示していないが、今年度取り組みを進めていく中で様々な御意見をいただくことになると思うので、来年度に向けて柔軟に対応してまいりたいと考えている。

【教育次長】

スタバケの先進事例は市内観光を一つの目的として実施しているが、日光市は自然探索、料理や農業などの体験活動、芸術鑑賞、旅行等幅広く取得理由を掲げている。

先程課長が申し上げたとおり、広くこの制度を活用していただきたいため、具体例を示していないところである。

【委員】

主要事務事業について2点と、適正配置について1点お伺いしたい。

まず主要事務事業の中で1点目、先程委員の発言にもあった教員の多忙感について質問したい。報道では多忙感の解消策について、教職員定数の改善が回答として多く挙げられているが、教員の配置については国や県に要望してもなかなか解消されないかと思う。そこで、ふるさと納税を財源として活用した教員配置の対応は可能なのか伺いたい。

続いて主要事務事業の中で2点目、文化会館の整備事業についてお願いしたい。検討市民委員会で課題の整理を行うこととされているかと思うが、課題が整理された際には教育委員会会議の中で御報告いただきたい。

最後に日光中学校と東中学校の適正配置についてお聞きしたい。両校を閉校して新しい学校を作るため、閉校式を2回、開校式を1回行うという認識をしている。新しい気持ちで生徒達が一つにまとまるということであればいいことだと思うが、東中学校のみを閉校し、日光中学校に合流するといった考えは当初からなかったのかお伺いしたい。

【学校教育課長】

まず教員配置については委員の御意見のとおり毎年県に要望しているが、なかなか対応されていない状況である。そういった状況の中、日光市は指導助手や支援員の配置を独自でかなり手厚く配置している。ふるさと納税の活用という御意見をいただいたところではあるが、今後も同様の対応をしてまいりたいと考えている。

また、日光中学校と東中学校の統合については、これまで様々な御意見をいただき、内部でも議論を重ねてきたところである。これまではどちらかの中学校に合流するような手法で適正配置が実行されてきたが、様々な課題があり、御意見をいただいく中で現在の統合方針となった。

【生涯学習課長】

文化会館の整備事業については新聞報道もあったとおり、年度末に新たな課題が浮上し、今年度はその課題の整理に費やそうと考えている。整理され次第、教育委員会

会議でも報告させていただく。

【委員】

日光市の学校は人員を増やしてほしいというよりも、仕事量を減らしてほしいという要望の方が多いのか。

【学校教育課課長補佐】

どちらの要望もある。

【教育長】

国や県から学校へ次々と業務追加の通達があるが、この業務をやめてもいいという通達がないため、学校は業務が増える一方である。そういった課題を解消するために今後議論を進めていかなければならず、皆さんからの御意見もいただきながら整理してまいりたい。

【委員】

中央公民館のイオン今市店への移転について、時期はいつ頃になるのか。

【中央公民館長】

来年の秋頃を目指して取り組んでいるところである。

【教育長】

説明終了後、追加の質疑を求めたが質疑はなかった。

日程第三 教育委員からの提案事項

【教育長】

教育委員からの提案事項について意見を求めた。

【委員】

消滅可能性自治体について先日報道があったが、人口が増えている都市の中で奨学金の全額免除を実施している自治体がある。日光市の免除率は額の3分の1であるが、全額補助を検討してみても如何か。

【学校教育課長】

奨学金の免除制度については担当間でも議論があり、市議からも御提案をいただいている。免除制度は定住促進や移住促進の施策として実施しており、学校教育課としても課題として捉えている。今後地域振興課とも協議し、横断的に検討してまいりたい。

【委員】

5月7日の朝日新聞にインターネット上で日光市の教育旅行のメタバースを開始したと報道があったが、対象使用者は学校の教員、児童生徒のどちらを想定しているのか。また、生徒が使うのであればタブレットを使用するのか、利用料は無料なのか等教えていただきたい。メタバースを実際確認してみたが、かなり作り込みがされていたと感じた。利用料が無料なのであれば、日光市に実際に来ていただかないと歳入が見込めないのではないか。

【学校教育課長】

メタバースは修学旅行を日光市に誘致したいという観光施策として、観光課が実施している。事前学習にも使用できる内容となっているとは聞いているが、無料か有料か、アバターを使用するのか等の詳細は分かりかねるので、今後確認し皆様へ情報提

供してまいりたい。

日程第四 その他

【学校教育課課長補佐】

中卒者の進路状況調査結果を配布させていただいたので、参考として御確認いただきたい。

【教育長】

次会の会議は、令和6年6月17日、時間は午後3時00分から日光市役所本庁舎3階大会議室、7月の会議は令和6年7月23日、時間は午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室で行うことを確認した。

午後2時26分閉会